

平成28年7月20日

保護者様

大阪市立堀川小学校
校長 中谷 裕巳

夏休みにおける子どもの生活について

夏休み期間中は、子どもたちは1学期の生活を振り返り、学習や生活において主体的に課題を設け、自主的・自律的な生活態度や豊かな感性を身につけるのよい機会です。しかし、普段より開放感が増し、事故や犯罪の被害にあう危険性が高くなる時期でもあります。

ご家庭でも夏休みの過ごし方について話し合っていただき、次のこと留意して、有意義に過ごせるようご配慮ください。

（1）基本的な生活習慣を確立する

休業中は、学力や体力の向上に向けた目標を持たせ、自ら生活設計を立て、日々実行することで基本的な生活習慣の確立を図るようにすることが重要です。学習では、1学期の学習を振り返り、定着しきれていない事柄を重点的に復習したり、教科書やノートなどを整理したりすることによって、新しい学期への準備と意欲づけをしてほしいと考えています。また、家事の分担など家庭生活での役割を持ち、家庭の一員としての自覚を高めるよい機会です。

（2）感性や情操を高める

スポーツ活動や自然体験活動、ボラティア活動などの体験活動を通して、命を大切にしたり、他人を思いやる場を設けたり、自然などの美しいものにふれて感性や情操を高めることも大切にしてほしいと考えます。

（3）健康の維持と体力向上に努める

外出後や食事前に必ず手洗いやうがいをしたり、毎食後歯磨きをする習慣を身につけましょう。また、学期中と同じように「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を続け、生活のリズムを整え、体調を崩さないようにご配慮ください。

さらに、積極的に体力向上に努めるよい機会です。できるだけ戸外の安全な場所で、なわとびや体育学習で行った簡単な運動などを毎日少しづつ根気よく継続させたいものです。また、学校のプール水泳指導も利用し、体力向上の一助にしてほしいです。

（4）安全な生活と事故防止の徹底を図る

① 交通事故防止

○ 道路へは急に飛び出さない、信号が青色でも必ず左右の安全確認をする、

信号は必ず守るなど、正しい交通ルールを守らせてください。また、曲がり角での事故が大半です。曲がり角での安全確認や自転車の減速なども事故防止には大切なことです。

- 自転車の点検をし、正しい乗り方について十分理解させてください。例えば、自転車の二人乗りをしたり、横に広がって走ったりしないことなどです。なお、平成 28 年 7 月 1 日より自転車保険の加入が義務化されています。

② 誘拐・痴漢防止

- 児童が外出するときは、行き先や目的、帰宅時間を確認してください。
- 知らない人に声をかけられたり、車に乗るように誘われたりしても、絶対について行かないこと、エレベーターでは見知らぬ人と二人きりにならないこと、「子ども 110 番の家」の場所を日ごろから確認しておくこと、身の危険を感じたら、大声で助けを求めることが、子どもが一人で家にいるときは、必ず施錠することなどを平素から言い聞かせておいてください。
- 公共の場のトイレの使用は、子ども一人で行かせず、大人が付き添うようにしてください。
- 保護者不在時に、業者を装って不審者が家に押し入ることがあります。施錠を確実に行い、不用意にドアを開けないように、気をつけさせてください。

③ 危険な遊びの禁止

- 外出の際は、危険な所持品はないか、金銭を多く持っていないかなど、よく掌握してください。また、言葉づかいや興味の傾向などに変化がないか、細かいところまでよく注意してください。
- 児童だけで、カラオケボックスやゲームセンター、テーマパーク、梅田や天六、京橋などの繁華街へ行かせないようにお願いします。
- 携帯電話やスマートフォンの「LINE」等の使用により、児童が事件や事故に巻き込まれる事案が全国で発生しています。子どもの使用状況について内容を把握したり、有害サイトアクセス制限サービス（フィルタリングサービス）を利用してください。

（5）事故や病気入院は必ず学校に連絡してください

休業中、事故にあったり、大きな病気にかかったりしないことを願っていますが、万が一、事故や病気入院があれば、すみやかに学校に連絡してください。

堀川小学校 ☎ 6358-3336 (代)

◆ 「24 時間電話いじめ相談」について

いじめ問題に限らず子どものSOSを社会全体で受け止める趣旨で、「24 時間子どもSOSダイヤル」(0120-0-78310) が設けられています。フリーダイヤルに変更されましたので、お伝えいたします。